

令和3年教育委員会第1回臨時会会議録

開会日時 令和3年1月26日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時24分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花高子
同職務代理者 日高芳一
委 員 上原有美江
委 員 塚本 亨
委 員 望月京子
委 員 青柳 豊

議場出席委員

・教育次長	安井喜一郎	・学校教育担当部長	菅谷 幸弘
・教育総務課長	鈴木 雄祐	・学校施設担当課長	森 孝行
・学務課長	山崎 淳	・指導室長	加藤 憲司
・学校教育支援担当課長	柴田 賢司	・統括指導主事	木村 文彦
・統括指導主事	大川 千章	・地域教育課長	尾崎 隆夫
・放課後支援課長	生井沢良範	・生涯スポーツ課長	南部 剛
・中央図書館長	尾形 保男		

書 記

・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花高子 委員 日高芳一 委員 上原有美江
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和3年教育委員会第1回臨時会を開会いたします。

次に、本日の会議録の署名を私に加え、日高委員と上原委員をお願いいたします。

それでは、議事に入ります。本日は報告事項等が2件でございます。

報告事項等1「令和3年度葛飾区奨学資金奨学生採用候補者の決定について」の報告をお願いします。

教育総務課長。

○**教育総務課長** それでは、「令和3年度葛飾区奨学資金奨学生採用候補者の決定について」ご報告させていただきます。

葛飾区奨学資金選考審査会におきまして、選考の結果、下記のとおり採用候補者を決定したものでございます。

記書き以下でございます。まず、1番「対象者・募集人員」については記載のとおりでございます。

2番の「応募状況」でございます。(1)「高校等進学予定者」については8人で、昨年度と同人数でございます。(2)「高校等に在学中の者等」につきましてはゼロで、昨年度より1名減となっております。合計は8人ということで、トータルでも1名減となっております。

3番の「採用候補者の決定」でございますが、応募者全員を候補者として決定したものでございます。採用候補者の内訳につきましては、公立について6人、私立については2人ということでございます。

ご報告は以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○**教育長** ただいまの報告についてご質問等ございますでしょうか。

青柳委員。

○**青柳委員** ただいまご報告いただきました奨学金の件なのですが、高校の授業料無償化の関係もあって、人数も例年落ち着いてきているということではありますが、今、公立と私立の入学時の一時金の差ですとか、その辺を考えると、調べてみましたら、募集期間が10月15日から11月16日と約1カ月という期間の中で、例えばその期間を過ぎてから問い合わせがあったり、申し込みたいとか、そういうケースというのはどれくらいあったのか、もしくはそういうのはなく、この期間内で全てが問題なく済んでいるのかというのを教えていただけたらと思います。

○**教育長** 教育総務課長。

○**教育総務課長** 正確な件数は把握していませんけれども、毎年この期間が終わってから、この貸付けに限らず高校に行きたいのだけれども資金を、というようなお問合せはいただい

るところですが、今年度についても例年度と同様に、目立って多かったという印象は、少なくとも私は持っていないという状況でございます。

○教育長 青柳委員。

○青柳委員 基本的にはその期間を過ぎた場合は、翌年度の募集期間でお願いしますというアナウンスになるのですか。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 やはり、入るときに使いたいという方のお問合せと認識してございますので、翌年度ということになると、在学中にということになってまいります。先ほど委員がおっしゃられたように、一時金の差というのがどうしても入学時に出てくるのかなというところがあるので、来年度ということは、ご案内はいたしますけれども、それが利用につながっているかどうかというのは、ちょっと難しいところかと考えております。

○青柳委員 分かりました。ありがとうございます。いずれにしてもこういう奨学金を申し込まれる方はやはり、これは本人が申し込むということですが、親も一緒に絡んでくると思いますし、本当に必要に迫られているところもあるので、そういう制度があるというアナウンス、これはもっと一般的に広く告知していただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○教育長 ほかにございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 私も青柳委員と同じような危惧をしたのですが、やはりコロナ禍ということといわゆる社会情勢の不安定さ。また、逆に国民全体についても、政府もいろいろな支援策を講じておるようですが、やはり向上心を持った子どもたちの教育機会均等ということでは、数だけではなくて、やはり葛飾の区民にとっては大事な制度だと思いますので、鋭意努力していただきたいという意見だけです。

○教育長 ご要望ということでよろしいでしょうか。

上原委員。

○上原委員 これは、多分ポスターをいつも貼り出していますよね。あれはいつぐらいから貼り出しているのですか。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 正確な日付は失念をしておりますけれども、先ほど青柳委員からもお話があった10月15日からの募集ということですので、広報紙等々併せてその前、一月以内には貼りだしていると記憶してございます。

○教育長 上原委員。

○上原委員 要するに何が言いたいかという、そういうことを知っているか知らないかという問題なのです。多分この8人の方というのは、もしかしたら、もう前から聞いているからすぐ申

し込んだというケースもあると思うのです。

でも、そうではなくて、やはりそういうのに疎いというか、そういうことを知らない人、葛飾の場合は結構、保護者の方が外国籍の方もいらっしゃるので、そういう方たちが意外に知らなかったりするケースはあると思うのです。

だから、そういったことをしっかりと学校の先生などがあらかじめ知っているとか、そういったことを言ってあげることもやはり必要かと思うのですけれども、いかがですか。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 少し言葉が足りませんでした。まず「広報かつしか」なのですけれども、直前の10月15日号に、例年載せているのと、区立中学校全校に、募集要綱、申請書を配ってございます。学校内で周知していただきたいということで、校長会等でも働きかけているような状況でございます。

○教育長 上原委員。

○上原委員 校長先生でも結構いろいろ差があって、すごくまめな先生もいれば、そうでない先生もいらっしゃるところが実際あるのです。

私の知り合いで、高校のときからこういう奨学金を頂いていたという子の話を聞いたときに、女の子なのですけれども、その子の場合だと、学校の先生から聞いたというのです。広報紙とかそういうのではなくて、学校の先生が教えてくれて、それで申請したという話を聞いたのです。

ですので、基本的にやはり先生方がしっかり知っていただいて、教えてあげるということをしないと、なかなか申し込むこともできないのかなと思います。

その彼女などの場合だと、そういうのがあったから高校、大学まで行けたと。やはり何でそんなに勉強したいのと聞いたらば、今のいろいろなところから抜け出したかった、そのためには勉強するしかないと思ったから抜け出したのだ、という話をしてくれたのですけれども、やはりそういう向学心の強い子たちが多くなればなるほど、周りもよくなってくるわけですので、ぜひともしっかり学校の先生方に知らせていただければと思います。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 ありがとうございます。基本的に先ほど塚本委員からのご指摘もありましたけれども、コロナ禍も含めて、今後、経済状況はどうなっていくか分からないという状況もございまして、まずはこうした制度で学業を諦めることはないというところは十分に周知を図ってまいりたいと考えてございます。

上原委員より実例をお出しいただきましたけれども、今後もやはりこうした制度もあるということ十分に皆さんに知ってもらって、必要なところにご利用いただくというところで事業を進めてまいりたいと考えてございますので、よろしく願いいたします。

○教育長 よろしいでしょうか。ほかにございますか。

それでは、報告事項等の1につきましては以上で終わりいたします。

次に報告事項等2「第7回かつしかふれあいRUNフェスタ 2021 について」ご報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 では、私から「第7回かつしかふれあいRUNフェスタ 2021」につきまして、ご報告させていただきます。

まず、「概要」でございます。第7回かつしかふれあいRUNフェスタ 2021 につきましては、既に募集を開始しているところではございますが、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、一同が会場に集まる従来の方法での開催が困難なことから、オンライン大会により実施することといたしました。改めてご報告させていただきます。

今回実施いたしますオンライン大会とは、参加者がスマートフォンのGPSアプリを活用し、全国どこからでも参加できる新しい形の大会でございます。期間中にランニングを通して各々の目標にチャレンジすることができるものとなっております。

「大会期間」でございます。令和3年3月7日の日曜日から3月20日の土曜日、2週間の期間を設けてございます。

3「種目」でございます。まず1点目といたしまして、「健康ラン&ウォーク（ハーフマラソン完走・完歩の部）」でございます。対象は小学生以上でございます。距離は、記載のハーフマラソン以上の距離となっております。参加費は1,500円です。内容といたしましては、期間中の累計距離でランク付けを行います。

2点目が「チャレンジラン」、いわゆるハーフマラソンのタイムアタックの部でございます。対象は高校生以上で、距離は記載のハーフマラソンの距離。参加費は2,000円でございます。内容は期間中にハーフマラソン1本のタイムでランク付けを行います。

4の「参加賞」でございます。大会終了後に、参加者全員に参加賞を郵送いたします。

次に、5の「表彰」でございます。健康ラン&ウォークは累計走行距離、チャレンジランはタイムでランク付けはされますが、表彰はこのランクに応じては行わないことといたします。健康ラン&ウォーク、チャレンジランともランク順位による特別賞（飛び賞など）、あるいは抽せんにより賞品を贈呈してまいります。

6の「大会推奨コースの設定」でございます。まず、一つ目といたしまして、期間中の土曜、日曜は従来のRUNフェスタコースに距離表示や折り返しの目印を設置することによりまして、日本陸上競技連盟公認コースを体験することができるようにいたします。

2点目といたしまして、かつしかランニング（ウォーキング）マップや葛飾区観光ガイドマップに記載のコースを大会推奨コースに設定いたします。こちらにつきましては、現在大会のホームページで、写真などを交えながら随時アップをしているところでございます。

7番目「RUNフェスタ応援隊（協力店舗）」についてでございます。区内の商店街や浴場組合などにご協力をいただきまして、葛飾区を訪れた参加者が区内各所をランニングやウォーキングで巡ってもらい、様々な形で下町人情あふれるおもてなしサービスを受けられるよう、葛飾区全体で盛り上げていく取組を進めております。

なお、RUNフェスタのチラシを添付させていただきましたので、参考にいただければと思います。

報告は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

望月委員。

○**望月委員** 堀切が毎年会場になって、非常に楽しみにしているRUNフェスタなのですが、また今年もできないということなのですね。ただ、この4日間に限り、同じコースを走ることができるようです。堀切のまちは皆さんに楽しんでいただけるよう、おもてなしを考えているようです。ぜひ、堀切河川敷に来てリアルコースを走ってみてはいかがでしょうか。

それで、今、応募状況というのが分かれば、少し教えていただければと思います。

○**教育長** 生涯スポーツ課長。

○**生涯スポーツ課長** 現在、応募状況ですが、約500名程度となっているところでして、多くの方が参加していただけるように、区のSNSであったり、今後、「東京30K」という民間が行っているマラソンが、残念ながら中止になってしまっていて、参加者に連絡を取るということなのですが、「かつしかふれあいRUNフェスタ」も行っていますというアナウンスも一緒にしていただけるような取組を行っておりまして、極力いろいろな手だてを考えて参加者を募っていかうと考えております。

○**教育長** よろしいですか。上原委員。

○**上原委員** 今、申込みが500名と聞いたのですけれども、これ見ますと2月9日まで申し込めるようになっていきますよね。申し込んだ方全員が今回の場合は対象になるのでしょうか。

○**教育長** 生涯スポーツ課長。

○**生涯スポーツ課長** 申し込まれた方が全て参加できるようにしてまいります。

○**教育長** 上原委員。

○**上原委員** 例年だと大体何人ぐらいで、今年はこのぐらいと、その辺教えていただけますか。

○**教育長** 生涯スポーツ課長。

○**生涯スポーツ課長** 昨年、こちらは実際にコースを走るというものでありました。こちらにつきましては、7,400人を超える応募をいただいたところです。

○**教育長** 上原委員。

○**上原委員** では、7,400人応募してきて、実際走った方はどのくらいでしょうか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 昨年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止といたしました。

○上原委員 できなかったですね。その前の年でもいいですから。

○生涯スポーツ課長 今、詳しい資料はございませんが、結構参加率は高かったと記憶してございます。

○上原委員 その7,400人というのはどこから来たのですか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 こちらにつきましては、事前に応募、参加の申込みをされた人の数でございます。

○教育長 上原委員。

○上原委員 今年は500人だということですか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 はい。そのとおりでございます。

○教育長 上原委員。

○上原委員 そうなると、やはりいつもの年よりは少ないということですよ。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 おっしゃるとおり、やはり例年より少ない人数となっております。

○教育長 上原委員。

○上原委員 なるほど。やはりみんなで走るというのをやりたいという人のほうが多いのは仕方がないのかなという気がします。

でも、やるだけいいことではないかなと思います。やめるよりはこういう形でも行うということが、持続するということが大切かなと思いますので、500人以上にもっと参加する人が増えることを祈っております。

○教育長 よろしいでしょうか。ほかに。日高委員。

○日高委員 オンラインの大会自体がめずらしいことですから、そういう意味ではこれがきっかけになって、今後こうしたことの活用ができるようになるのかなというふうにも思います。このオンライン大会、全国どこからでも参加できるというのですけれども、どういうところからの参加の状況がありますか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 具体的に今、資料はございませんが、報告によりますと、沖縄の方も応募をされたと聞いております。

○教育長 日高委員。

○日高委員 これはある部分で葛飾をPRするのに非常にいいことなのかもしれません。

ですから、何もスポーツだけではなくて、いろいろな面でPRができるのではないかと思いますし、まだ2月9日までですから、それまでの余裕で500名を超えるような方たちが、しかも全国各地でもできるという、沖縄もいるということですから、さらに何かご案内ができるようなシステムでも、もちろんホームページ等でもやっていると思いますので、そうした活用が十分にできるようにぜひ進めていただければありがたいと思います。希望です。

○教育長 ご要望ということでよろしいでしょうか。

ほかに。塚本委員。

○塚本委員 私も日高委員と全く同じ意見なのですけれども、むしろ、先ほど現時点で500名という数字がございますけれど、強烈的なサポーターになっているのではないかと思います。

この現況の中でも、やはり何らかの形で走りたいという意欲、多分見えない部分でランニングされる方のネットワークがあるのかなと思いますので、体育協会なり、いろいろなツールを使って、数ではなくて、やはりこれがベースになって、こういう環境でもイベントができたのだというのはすごく大きな実績だと思いますので、大変なご苦勞をかけますけれども、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項の2を終わりいたします。

以上で本日の議事は全て終了となりますけれども、その他で何かご意見、ご質問等がございますか。

日高委員。

○日高委員 これは指導室長にお伺いしたいのですけれども、各学校の状況であります、このコロナ禍で3月を目途にというお話もありましたが、宿泊等の行事に代わるような、日光に行かない子どもたちにどう配慮するのか。あるいは修学旅行を体験できなかった中学生に、何らかの形で思い出をつくれるような1日でもつくろうというお話もあったように思いますけれども、現状はどのようになっていますか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 まず、修学旅行でございますけれども、先般の補正予算でも、公費の補填という形でお認めいただいているところでございます。

それで、全ての中学校について、関東近県で1泊2日もしくは日帰りという形で3月の上旬、中旬辺りに行くという機会にしております。2月の当初ぐらい、1か月前ぐらいになりますでしょうか。その辺りでの判断をしたいと考えております。

小学校につきましては、2月から3月ということで、3月がやはり多くございます。そういったところの判断につきましても、なかなか難しいところであり、行く場所もいろいろあるのでご

ございますけれども、1月の末、2月初旬には判断しなければいけないかと思っております。

今、校長会の代表の先生方とそういう打合せをするという形で準備は整えております。どういう形になろうとも、例えば事前の学習とか、そういうことも含めてということもありますし、修学旅行につきましても、これは本区ではないのですけれども、バーチャルで修学旅行をしたりとか、そういった様々なことも、情報としては入ってきておりますので、そういう情報も検討しながら、しっかりと考えていきたいと思っております。以上です。

○**教育長** 日高委員。

○**日高委員** 本当にご苦勞が多いと思いますし、非常にこのコロナ禍、先行きが不透明ですから大変だと思いますけれども、ある時期を見て決定しなければいけないだろうと。つらい部分がありますけれども、何とかこれが収まって、小学生にしても、中学生にしても卒業の時期というのは、やはり修学旅行だったり、宿泊的行事というのは本当にいい思い出になりますから、ぜひこれがかねえられるようになってくれればいいなと願いを込めたいと思います。以上です。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして令和3年教育委員会第1回臨時会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時24分